

1細胞あたり約6円

低コストで導入可能な scRNA-seq キットのご紹介

scRNA-seq 解析の登場以来、本技術は驚異的なスピードで進化を遂げてきました。一方、セルアトラス構築や時系列解析など、多検体・多細胞を対象とする研究においては、依然としてコストが大きな課題となっています。近年では、専用装置に依存しない scRNA-seq 手法も登場し、より多くの研究者が scRNA-seq 解析に取り組める環境が整いつつあります。QuantumScale は 現在、10x Genomics 社が提供する scRNA-seq 解析キット*で、プレートベースのワークフローを採用することにより、高額な専用装置を必要とせず解析を実施できます。また、サンプルマルチプレックスに対応しており、多検体・多細胞解析を低コストで実現可能です。

本ウェビナーでは、QuantumScale を用いた 実験ワークフロー、コスト削減のポイント、活用事例をご紹介します。



2026年1月22日(木) 14:00~15:00



当日はZoomにて実施します。
ご登録はこちらからお願いいたします。
<https://bit.ly/3LwOZXE>



多検体・多細胞のscRNA-seq をもっと身近に、解析技術の最前線
— 専用装置不要・低コストを実現する QuantumScale (10x Genomics) —

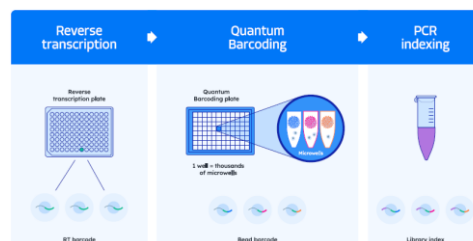
細野 直哉

バイオストリーム株式会社 アプリケーションサイエンティスト シニアディレクター

本ウェビナーでは、10x Genomics 社が提供する ScaleBio 由来の scRNA-seq 技術をご紹介します。本技術は専用装置を必要とせず、キットのみで最大 16 万8千細胞（または核）規模の scRNA-seq 解析を実現します。画期的なプレートベースのユニークバーコード（Combinatorial Indexing）方式を採用しており、複雑な操作を必要とせず、一般的な研究室設備で実験を実施することが可能です。さらに、独自の固定試薬により検体を固定後に長期保存できるため、実験スケジュールの自由度が大きく向上します。

また、年度末までのキャンペーンとして、1 キットあたり最大 168,000 細胞・最大 24 サンプルを処理可能なキットを、25%OFF（約 100 万円/キット、約 6円/細胞）という非常に経済的な条件でご紹介します。

Learn more >>>

scale.bio/single-cell-rna-sequencing-kit/

※ QuantumScale 技術は、元々 ScaleBio 社により開発された Combinatorial Indexing 技術を基盤としており、10x Genomics 社の買収により現在は 10x Genomics 社の製品として提供されています。

バイオストリーム株式会社

info@biostream.co.jp

担当営業：深澤

takafumi.fukazawa@biostream.co.jp